



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月7日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4960 URL <http://www.chemipro.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片木 茂行  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 兼俊 寿志 TEL 078(393)2524  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 平成一年一月一日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無: 有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,220	3.5	242	8.0	110	△0.7	69	△20.9
25年3月期第3四半期	6,009	△10.5	224	△48.1	111	△67.2	87	△39.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	4.20	—
25年3月期第3四半期	5.31	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	13,859	3,863	27.9	233.19
25年3月期	13,086	3,823	29.2	230.78

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,863百万円 25年3月期 3,823百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	0.00	2.50	2.50
26年3月期	—	—	0.00		
26年3月期(予想)				2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有・無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	3.8	260	2.8	80	△13.0	45	△63.4	2.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有・無

業績予想修正の詳細については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
- ④ 修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	16,623,613株	25年3月期	16,623,613株
26年3月期3Q	56,586株	25年3月期	55,042株
26年3月期3Q	16,567,795株	25年3月期3Q	16,569,354株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中でありませぬ。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の世界経済は、米国が個人消費や企業業績の堅調さを維持し、加えて住宅市場も底堅く推移する一方、欧州ではドイツの企業業績が好調を維持しつつも、ユーロ圏全体としては景気回復は緩慢な状況でありました。新興国では、中国経済が景気下げ止まり後、横ばいに推移しているものの、その他新興国は未だ先行きに不透明感が残る状況であります。このように世界経済全体としては明るさを取り戻しつつあるものの引続き不安定さも残る情勢でありました。

一方、日本経済はアベノミクスによる株高・円安や景気刺激策等の効果から回復軌道に乗ってはいるものの成長戦略の成果が見通せない状況でもあり、国内外経済全体で考えれば、まだまだ不透明さの残る状況でありました。

このように国内外経済は全体として徐々に明るさも見えてくる一方で、不安感も残る中、当社の主力マーケットである欧州自動車産業の業績回復は未だ途上にあり、当社の売上高は、引き続き厳しい状況となりました。また、利益面については、円安による改善効果は一部あるものの、中国・アジアマーケットを中心にグローバルな販売価格競争は続いており、さらに厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社の当第3四半期累計期間の業績は、紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量の増加ペースは低調に推移し、写真薬中間体他の販売が減少する一方、製紙用薬剤や電子材料の売上が増加したものの売上高合計では、前年同四半期比210百万円増加の6,220百万円（前年同四半期比3.5%増）に留まりました。利益面は、売上高が増加した一方、販売費及び一般管理費も増加し、営業利益は242百万円（同8.0%増）、経常利益は、生産休止費用58百万円を計上したことなどにより110百万円（同0.7%減）となりました。四半期純利益については、法人税等41百万円を計上したことにより69百万円（同20.9%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## (化学品事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、国内外経済が全体として不安感も残る中、欧州では自動車産業の業績回復が遅れており、紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量の増加ペースは依然厳しい状況で、紫外線吸収剤の売上は、前年同四半期比37百万円増の3,392百万円（前年同四半期比1.1%増）に留まりました。製紙用薬剤が325百万円（同38.7%増）、電子材料が169百万円（同64.6%増）と一定の伸びがあったものの写真薬中間体等の薬剤での減収もあり、全体では同213百万円増の5,438百万円（同4.1%増）となりました。

## (ホーム産業事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上が前年同四半期比微増の673百万円（前年同四半期比2.3%増）となる一方、不採算であったD I Y商品から前年の第3四半期に撤退した影響で、全体では同3百万円減の781百万円（同0.4%減）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円,%)

セグメント別	期別 区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減 金額
		平成25年3月期		平成26年3月期		
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	3,355,351	55.8	3,392,744	54.5	37,393
	写真薬中間体	260,885	4.3	184,385	3.0	△ 76,500
	製紙用薬剤	234,585	4.0	325,426	5.2	90,841
	酸化防止剤	203,065	3.4	218,381	3.5	15,315
	電子材料	102,787	1.7	169,209	2.7	66,421
	防錆剤	37,316	0.6	35,457	0.6	△ 1,860
	染顔料中間体	18,916	0.3	12,631	0.2	△ 6,286
	その他	1,011,871	16.8	1,100,193	17.7	88,322
(小計)	5,224,779	86.9	5,438,426	87.4	213,646	
ホーム産業事業	木材保存薬剤	658,633	11.0	673,724	10.8	15,091
	D I Y商品	11,821	0.2	—	—	△ 11,821
	その他	114,737	1.9	108,041	1.7	△ 6,697
	(小計)	785,192	13.1	781,765	12.6	△ 3,428
合計	6,009,972	100.0	6,220,191	100.0	210,218	

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期末（以下「当四半期末」という）の総資産は、前事業年度末（以下「前期末」という）比773百万円増加し、13,859百万円となりました。流動資産は同595百万円増の9,122百万円、固定資産は同180百万円増の4,732百万円、繰延資産は同3百万円減の4百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が128百万円、たな卸資産が271百万円増加し、受取手形及び売掛金も151百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加要因は、有形固定資産が173百万円増加し、無形固定資産は6百万円減少、投資その他の資産が13百万円増加したことによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比733百万円増加し、9,996百万円となりました。流動負債は同534百万円増の7,171百万円、固定負債は同198百万円増の2,824百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加378百万円の他、社債150百万円の償還日が1年以内となり流動負債に振り替わったこと等を反映したものであり、固定負債の増加の主な要因は、長期借入金の増加292百万円であります。

当四半期末の純資産は、前期末比39百万円増加し3,863百万円となりました。主な要因は、四半期純利益を69百万円計上したことに加え、その他有価証券の評価差額金が11百万円発生する一方、配当金の支払41百万円があったことによるものであります。この結果、自己資本比率は27.9%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後も日本経済の回復は続くと思われるものの、アベノミクスの成長戦略の成否や消費税率の引き上げ等による基調変化の可能性もあり、グローバルにも、米国経済は底堅く推移しているものの、欧州や新興国経済は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況下、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年5月10日の平成25年3月期決算発表時に開示した平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の業績予想を修正することとしました。

修正内容と理由は以下の通りであります。

- ・当期の業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,400	340	150	60	3.62
今回修正予想 (B)	8,100	260	80	45	2.71
増減額 (B-A)	△300	△80	△70	△15	
増減率 (%)	△3.6%	△23.5%	△46.7%	△25.0%	
(参考) 前期実績 (平成25年3月期)	7,806	253	92	123	7.43

- ・修正の理由

主力マーケットである欧州自動車産業の回復の遅れ等から、下期（10月～3月）における売上高が上期（4月～9月）並みで着地すると見込まれ、昨年5月10日発表の業績予想から300百万円程度の減収となり、加えて販売価格競争激化や円安による原材料価格高騰も影響し利益面でも減益の見込みとなったことから業績予想を下方修正するものであります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,320,323	3,448,644
受取手形及び売掛金	1,898,381	2,050,032
商品及び製品	2,768,453	2,908,119
仕掛品	141,673	52,633
原材料及び貯蔵品	328,935	549,599
その他	81,528	125,142
貸倒引当金	△12,640	△11,736
流動資産合計	8,526,655	9,122,434
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	950,980	918,477
土地	2,832,236	2,837,071
その他(純額)	507,161	708,816
有形固定資産合計	4,290,378	4,464,364
無形固定資産		
投資その他の資産	26,727	20,192
投資有価証券	121,890	137,543
その他	132,437	134,504
貸倒引当金	△19,983	△24,162
投資その他の資産合計	234,344	247,885
固定資産合計	4,551,450	4,732,443
繰延資産	8,281	4,836
資産合計	13,086,386	13,859,714
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,136,145	1,514,167
短期借入金	3,900,000	3,900,000
1年内償還予定の社債	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	994,912	872,967
未払法人税等	11,039	22,888
賞与引当金	65,047	27,295
その他	529,561	684,367
流動負債合計	6,636,706	7,171,685
固定負債		
社債	250,000	100,000
長期借入金	1,714,786	2,006,900
退職給付引当金	297,081	320,632
環境対策引当金	2,172	—
その他	361,890	397,163
固定負債合計	2,625,929	2,824,695
負債合計	9,262,635	9,996,381

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,052,562	1,052,562
利益剰余金	605,971	634,174
自己株式	△13,857	△14,042
株主資本合計	3,800,028	3,828,047
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,722	35,286
評価・換算差額等合計	23,722	35,286
純資産合計	3,823,751	3,863,333
負債純資産合計	13,086,386	13,859,714

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,009,972	6,220,190
売上原価	4,957,702	5,101,969
売上総利益	1,052,269	1,118,220
販売費及び一般管理費	827,502	875,438
営業利益	224,767	242,782
営業外収益		
受取利息	68	95
受取配当金	3,168	3,188
受取賃貸料	11,030	41,038
その他	22,104	9,769
営業外収益合計	36,371	54,092
営業外費用		
支払利息	80,354	75,298
生産休止費用	56,141	58,402
賃貸収入原価	6,904	44,161
その他	6,036	8,122
営業外費用合計	149,437	185,985
経常利益	111,701	110,888
特別利益		
保険金収入	49,684	—
特別利益合計	49,684	—
特別損失		
事故対策費	32,402	—
特別損失合計	32,402	—
税引前四半期純利益	128,983	110,888
法人税、住民税及び事業税	41,000	41,264
四半期純利益	87,982	69,624

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。